



## よりよい『移行支援』について考えてみませんか？

STEP R3 年度 2/25号  
 「【特別支援教育】年度末! そろそろみんなで  
 やってみたい あれこれ」  
 は、嶺南教育事務所HPからバックナンバーに  
 アクセスできます。ご参考に!!

昨年度も、「【特別支援教育】年度末! そろそろみんなでやってみたい あれこれ」と題して、年度の締めくくりにはやっておくべきことをご紹介しましたが、今回は、そのなかでも、特別な支援が必要な子どもの小中移行支援のポイントについて、レオ先生と一緒に確認していきましょう。



レオ先生

文科省の調査によると、発達障がいの可能性があり、特別な支援が必要な児童生徒が、通常の学級に8.8%在籍しているとのこと。一人ひとりに必要な支援をしっかりとつなぐためにも、小中での連携が欠かせないと痛感しています! そこで、そろそろ年度末の小中連絡会の時期ですが、会を開催するにあたっての留意事項があれば、ぜひ教えてください。

小中連絡会(移行支援会議)の日程は決まっていますか? 教育委員会が調整してくださっている市町もあるようですが、そうでない場合は、中学校が期日を決め、地域の各小学校と時間の調整をするとよいでしょう。

特別な支援が必要な児童について引き継ぐ際には、例えば、小学校側は、6年担任と特コ、中学校側は、新入生担当者と特コというように、各校2名以上で参加しましょう。6年担任からは、児童の特性や具体的な支援の方法について、特コからは保護者や外部機関との連携についてなど、役割分担して情報提供できるといいですね。忙しい時期ではありますが、情報の共有を確実にを行うためにも、顔と顔を合わせて、複数のメンバーでやりとりをしてください。



確かに、教員は異動もありますし、複数での情報共有は重要ですね!

では、よりよい移行支援・スムーズな小中連絡会に向けて、送る側の小学校が準備しておくとよいことはありますか?



引き継ぎは、書面を用いて行うことがベストです!!

中学校は、各小学校からたくさんの児童の情報を一気に聞き取ることとなります。また、連絡会の時間は限られますので、その場で聞き取れることも限られます。でも、口頭ではなく、書面を用いて情報共有すれば、伝え漏れも防げますし、あとから、ゆっくり確認することもできます。

ですので、個別の指導計画・支援計画にもとづいた移行支援ができること、これが一番よい方法ですね。支援が必要な児童については、簡易版でもよいので、作成をおすすめします。

ただ、これまで作成してこなかったしなあ…とお困りの先生もおられるかもしれません。でも、大丈夫!  
移行支援シートという様式もあります。このシートの作成なら今からでも間に合います。6年担任だけでなく、特コも協力しながら作成し、外部機関との連携や検査結果などについては、1~6年生の間の情報も網羅するようにしましょう。

個別の指導計画・支援計画、移行支援シートの引き継ぎは、もちろん、保護者の同意が不可欠です。中学校に向けて、心配や不安を抱えていらっしゃる保護者もおられるので、保護者の願いも丁寧に聞き取って、中学校につないでください。



移行支援の詳細は、各学校に配布されている、「特別な支援が必要な子どものための移行支援ガイドライン」を参考にしてください。移行支援シート(P36・37)の様式も各校に配布されていると思いますが、見当たらない場合は、嶺南教育事務所にご連絡いただければ、シートをお渡しすることができます。ぜひ、ご活用ください! (移行支援ガイドラインは、福井県特別支援教育センターHPからDLが可能です。HP下部、「福井県教育委員会の刊行物」をクリックしてください!)



なるほど…。でも、保護者の同意が得られないなどの理由で、口頭だけの引き継ぎになってしまう場合もありますよね。



その場合は、

◇ 児童の困り感だけでなく、具体的な手立てやこれまで行ってきた支援・配慮とともに伝える。  
(「〇〇といった困り感があるけれど、△△したら、□□できる。」)

◇ 学習面については、教科を意識しながら伝える。(中学校では、教科担任制になるため。)

◇ 生活面については、入学時、スムーズに適應するために必要な情報から伝える。

といったことを意識しながら、情報を精選して伝えることを心がけましょう。

ただ、校内判断で通級を受けていた、合理的配慮をおこなってきたなどの情報は、忘れずお願いします!



子どもの苦手なところだけではなく、小学校で行ってきた支援や配慮を具体的に伝えることがポイントですね!

では、情報を受け取った**中学校**が、今後すべきことはなんのでしょうか?

小学校からあがってきた情報を、**かかわる先生方で共有**することが最も重要です。「いつ・どういった場で・誰と・どういう内容を」情報共有するか、しっかり計画しておきましょう。

まずは、新年度が始まり、学級担任や時間割が決まった段階で情報共有する場がもてるよう、準備をお願いします。教科ごとの先生によって対応が違くと混乱する生徒もいます。小学校からの情報をもとに、支援の方向性についても話し合えるといいですね。また、引き継ぎの書面がどこに保管されているか、などについても共有し、いつでも誰でも、必要な時に確認できるようにしておきましょう。

また、定期的に話し合いの場がもてるよう、年間計画に「特別な支援が必要な生徒の情報交換会」といった時間を組みこんでいくとスムーズかもしれません。「いつから通級を開始するのか」「どの子が、個別の指導計画・支援計画を作成しているのか」といった情報も、担任だけでなく、その子にかかわる先生方で必ず共有していきましょう。校内で共有できる一覧表があるといいかもしれませんね。

新しい環境の変化にとまどいながら入学してくる生徒もいます。気がかりさや困り感が見えてきてからの対応では後手になってしまいます。生徒が安心して中学校生活をスタートできるよう、先手必勝でサポートしてくださいね。



計画的に、かつ、全教職員共通理解のもと組織的に取り組むことが、肝心でしたよね。

今回は、小中連携の大切さも改めて実感しました。日頃から、情報交換しやすい関係性も築いていきたいと思います。「切れ目のない支援」を行うためにも、できることからがんばります!!!

さらに学び続ける教師、レオ先生であった。



第5回 R-cafe 2月21日(火) 16:15~17:00 (17:00~17:15 フリートーク)

テーマ 「移行支援 & お悩み相談会」

★ 学校名\_お名前 (〇〇小\_△△) で参加してください。

年度末に向けて、日頃のお悩みをざっくばらんに話し合いませんか。移行支援のこと、特学の授業のこと、校内支援体制のこと…などなど、他校や他市町の先生と情報交換しましょう。今回は、**高校教育課・前田指導主事**も参加していただきますので、嶺北の情報もお聞きできるかも!ぜひ、ご参加ください。

\* 気軽にどなたでも参加可能な Zoom によるオンライン座談会です。途中入室・退出 OK です。

\* 特学担任や特コの先生はもちろん、教務の先生、管理職の先生…たくさんの先生方のご参加をお待ちしています。